

秋田協同印刷株式会社

秋田市八橋南二丁目10-34

刷版のボトルネックを解消し、短納期に対応 強みであるワンストップサービスを強化

【事業計画名】新しい付加価値を提供する超短納期一貫印刷ビジネス事業の拡大



導入したCTPセッター（刷版出力装置）



導入したカラープルーフ（色再現の見本出力装置）

取り組みの経緯

秋田協同印刷は企画からデザイン、刷版、印刷、製本、納品までをワンストップサービスとして提供している。首都圏では一貫したサービスを提供できる印刷業者が少ないため、デザインや品質を重視する顧客ニーズを取り込み、首都圏を中心として県外からの受注は約3割を占めている。

当社では印刷機の更新や印刷部員の2交代制導入により短納期に対応していた。しかし、印刷の前工程である製版工程における刷版出力枚数に限界があり、刷版待ちによるタイムロスが大きなネックとなっていた。また、刷版能力を超えた受注は協力会社の外注に頼らざるを得なかったが、内製化した場合に比べ半日から1日程度納期が遅れていた。超短納期の要求は、選挙関連、飲食業、観光業界などで相当数存在するが、これらの取り込みを目的に設備導入を検討した。

実施内容

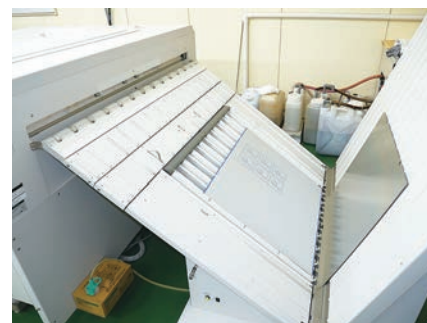
縮小傾向にある印刷業界において、印刷通販業者のシェアは年々高まっており、従来からの印刷業者にとって脅威となっている。印刷通販業者は印刷前準備段階のデータ作成作業（デザイン・編集・校正等）を顧客に任せ、製版以後を受注することで注文から配送まで2日程度という超短納期を実現している。印刷通販業者の納期対応力に対抗しながら、印刷通販業者には無い高い訴求力のあるデザインという付加価値を提供するため、刷版出力装置の導入を検討した。

既存設備は1時間当たり23版の刷版が限界であったが、33版の出力が可能なCTPセッターを導入した。また、ワークフロー RIP（演算コンピュータ）とカラープルーフを導入したことで、顧客からの要望が多い複数の見本提示や完成品に近い色の再現を高精度かつ迅速に行うことが可能となった。

事業の成果

刷版能力増加にともない、刷版待ちが無くなり、印刷能力を十分に活用することが可能となった。また、ワークフロー RIPの機能により、印刷機や印刷条件を変更する際の操作が簡便になったほか、データ処理スピードも向上し、作業の効率化が図られた。

「Japan Color 認証制度」の認証を得たカラープルーフ導入により、色域が拡大し文字の品質も向上。8ポイント程度の小さな文字もシャープに再現でき、高品質を求める顧客ニーズの対応に加えて、オフセット印刷機における色品質の維持・管理が可能となった。



刷版（オフセット印刷で使用する版）の例



東北初となる最新の印刷機



最新印刷機の試運転の様子

今後の活動予定

令和元年8月に東北初、国内でも数台のみとなる最新の印刷機を導入。本格稼働の際には印刷能力・品質のさらなる向上が見込まれている。

今後もワンストップサービスを提供できる強みを活かし、県内外の受注取込みを図っていく方針である。また、当社では紙媒体の印刷のほか、WEBの企画・デザインや電子書籍を事業として確立。ドローンでの高解像度写真や高品質動画の空撮、ストリートビュー、VR（仮想現実）などの新分野にも間口を広げており、次世代への情報伝達の懸け橋としての役割を担うべく日々進化を遂げている。

女性管理職育成に向け、各種外部研修へ積極的に従業員を派遣しています。また、年次有給休暇の取得を奨励し、時間外勤務の削減にも取り組んでいます。さらに、社員の仕事に対する意欲を高め、社員同士が気遣いあえる環境づくりにも寄与する「子どもお仕事参観日」を実施しています。こうした取り組みが「秋田県女性の活躍推進企業表彰」受賞や「ここで働きたい！東北・新潟のキラ☆（きらぼし）企業」選出などにも繋がりました。今後も社員が能力を発揮できるよう、仕事と生活の調和を図りながら、働きやすい環境を整備したいと考えています。



代表取締役
赤川 靖宏さん



秋田協同印刷株式会社

代表者	代表取締役 赤川 靖宏
設立	昭和16年12月
資本金	1,000万円
従業員数	79名
業種	印刷・同関連業
TEL	018-823-7477
FAX	018-824-2864
URL	www.akyodo.co.jp